

【様式1】

学生等の学びを継続するための緊急給付金申請書

独立行政法人

日本学生支援機構理事長 殿

私は、独立行政法人日本学生支援機構の「学生等の学びを継続するための緊急給付金」を申請します。

私が現在、日本学生支援機構の奨学生である場合は、日本学生支援機構が保有する私の口座情報を本緊急給付金の振込先情報として利用することに同意します。

1. 基本情報

		提出年月日		令和	年	月	日
所属する学校名		実践女子大学 ・ 実践女子大学短期大学部 ※○を付ける					
学籍番号				学部・学科			
氏名	カナ(姓)			カナ(名)			
	漢字(姓)			漢字(名)			
生年月日(和暦)		昭和・平成		年	月	日生	電話番号
機構の奨学生番号 ※機構の奨学生のみ記入ください。				—			—
				—			—
				—			—
		1月採用者で奨学生番号がわからない場合はチェック⇒ <input type="checkbox"/>					
日本学生支援機構(給付奨学金) 該当する区分に○をする。		1. 第I区分 2. 第II区分 3. 第III区分 4. 停止中					
日本学生支援機構(貸与奨学金) 該当する区分に○をする。		1. 第1種 2. 第2種 3. 併用 4. 停止中					

2. 振込先情報

※ 日本学生支援機構の奨学生は記入不要です。ただし、日本学生支援機構の奨学生であっても日本学生支援機構に登録している口座が解約済であるなどの理由により、学生等の学びを継続するための緊急給付金の受取りに支障がある場合は記入してください(日本学生支援機構の奨学金の登録口座については、別途、変更の届出が必要です)。

口座名義(カナ氏名) ※通帳記載の口座名義人を記入 (ゆうちょ銀行以外の金融機関)							
金融機関名・支店名	銀行 信用金庫 農協					支店 営業所 出張所	
金融機関コード			店舗コード				
預金種別	普通預金						
口座番号							
(ゆうちょ銀行)							
ゆうちょ銀行	記号						
	番号						

3. 申し送り事項

- ※ 証明書の提出が困難な理由や多子世帯、ひとり親世帯等であることや、大学等独自の授業料減免の申請状況など、大学等に申し送りすることがあれば記入ください。なお、こちらに質問などを記載しても返信致しません。**(多子世帯とは、子供(18歳未満の者または就学者)が本人を含め3人以上の世帯)**
- ※ 大学等1年生で予定していたアルバイトがなくなった場合等は、そのような事情を記入ください。

--

4. 添付書類

- ※ 該当書類の「チェック」欄に「○」を記入してください。該当がない場合は、添付する書類名を記載のうえ、「チェック」欄に「○」を記入してください。

チェック	書類名
○	【様式1】、【様式2】、【様式3】 ※全員提出必須 ※文科省HPの様式とは異なります。必ず本学HPから本学専用様式をダウンロードしてください。
	アパート等の賃貸契約書の写しまたは家賃の支払いがわかる根拠書類（自宅外生のみ） ※学生の名前が入っているもの。家族の単身赴任と同居は対象外
	本人名義の預貯金通帳の写し ※家庭からの仕送りがわかる箇所の写し
	新型コロナウイルス感染症対策に係る公的支援を受けている受給証明書等（提出可能な場合）
	アルバイト先からの給与明細（減額前、減額後および直近7か月） ※給与明細がない場合は、振込がわかる通帳のコピーや支払証明書で代替
	奨学生証など認定書の写し ※申請中で奨学生証が手元がない場合はチェック⇒□
	その他（ ）

ご記入いただいた情報は、日本学生支援機構の学生等の学びの継続のための緊急給付金のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報が、文部科学省、大学等、金融機関及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。

また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複支給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

【様式2】

学生等の学びを継続するための緊急給付金を受けるための要件に係る誓約書

私は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する学生等の学びを継続するための緊急給付金に申請するにあたり、次の①～⑤の申請要件について、満たしている項目を確認しました。また、①～⑤については、様式3の『状況報告書』に必要事項を記載し、誓約書に添付して申告します。

要件チェック項目	チェック欄(レ)	金額(年額)
①自宅外で生活している又は自宅で生活しているが家庭から支援を受けていない		
②家庭から多額の仕送りを受けていない ※1年生は家庭からの仕送り予定額、2年生以上は2020年度の仕送り年額を記載すること		万円
③家庭(両親のいずれか)の収入減少等により、家庭からの追加的支援が期待できない		
④新型コロナウイルス感染症によりアルバイト収入(雇用調整助成金による休業補償を含む。)に影響を受けており、1)～3)いずれかの状況となっている		
1)新型コロナウイルス感染症の影響で想定していたアルバイト収入が得られない状況が継続している		
2)コロナ禍前と比較して、アルバイト収入が大きく減少(50%以上減少)し、その状況が本年度になっても改善していない		
3)アルバイト収入が増加や一定水準に達していたとしても、家庭の経済状況が悪化したこと等の理由により、アルバイト収入を増やさざるを得ず、修学の継続が困難となっている		
⑤既存の支援制度について以下のいずれかを満たす		
1)高等教育の修学支援新制度に申し込みをしている者若しくは今後利用を行う者であって、第一種奨学金(無利子奨学金)の限度額まで利用している者		
2)高等教育の修学支援新制度の対象外であって、第一種奨学金(無利子奨学金)の限度額まで利用している者		
3)要件を満たさないため新制度又は第一種奨学金(無利子奨学金)を利用できないが、大学等独自の奨学金や民間等を含め申請が可能な支援制度、外国人留学生学習奨励費等を利用している者若しくは利用を予定している者		

上記の内容に相違ないことを誓約し、申請内容に虚偽があった場合は返金することに同意します。

令和 年 月 日

学校名 _____ 学部/研究科名 _____

学籍番号 _____

署名: _____

【様式3】学生等の学びを継続するための緊急給付金 状況報告書

学籍番号： _____ 氏 名： _____ (_____ 年生)

＜年間収支額について＞

年間支出

学 費：年間(①) _____)万円
 家 賃：月(_____)万円×12か月=(②) _____)万円
 生活費：月約(_____)万円×12か月=(③) _____)万円
 合計(自宅外生)：①+②+③=(④) _____)万円
 合計(自宅生)：①+③+60万=(④) _____)万円

※①の金額は下表より選択

所属		渋谷	日野
大学	2年生以上	106	112
	1年生	130	136
短大	2年生	104	
	1年生	128	

年間収入

奨学金：月(_____)万円×12か月=(⑤) _____)万円
 アルバイト：月約(_____)万円×12か月=(⑥) _____)万円
 合 計：⑤+⑥=(⑦) _____)万円

収支差(家庭からの仕送り)

④-⑦=(⑧) _____)万円

※⑧の金額を【様式2】誓約書の『②家庭からの仕送り年額欄』に記入すること

＜アルバイトについて＞

※A) B) C) について、給与明細や支払証明書等の根拠資料を提出すること

勤務先名	
勤務先住所	
勤務先電話	
勤務先責任者名	

A) 2020年1月以降で、一番給与が高い月と金額 _____ 年 _____ 月分 給与(_____ 円)

※1年生は2021年4月以降、2年生は2020年4月以降

B) 2021年11月までで一番給与が低い月と金額 _____ 年 _____ 月分 給与(_____ 円)

給与が低くなった理由 _____

C) 過去7か月の収入状況

2021年 6月分 給与(_____)万円 給与有 休業手当有 給与無 (理由: _____)
 2021年 7月分 給与(_____)万円 給与有 休業手当有 給与無 (理由: _____)
 2021年 8月分 給与(_____)万円 給与有 休業手当有 給与無 (理由: _____)
 2021年 9月分 給与(_____)万円 給与有 休業手当有 給与無 (理由: _____)
 2021年10月分 給与(_____)万円 給与有 休業手当有 給与無 (理由: _____)
 2021年11月分 給与(_____)万円 給与有 休業手当有 給与無 (理由: _____)
 2021年12月分 給与(_____)万円 給与有 休業手当有 給与無 (理由: _____)

※給与が一番高い月等は、コロナの影響なく通常勤務していた平均的な金額の中で一番高い月のことを指しています。また、臨時収入(休業手当等)を除いた金額です。

※休業手当が支給された場合は、給与金額欄に記入し、理由欄にも手当支給があった旨を記載してください。

※アルバイトをしていない場合は、【様式1】申請書の『3. 申し送り事項』に予定していたアルバイト情報(勤務時間・時給・収入等)を記入すること